

万治2年(1659)東岩坂村検地帳

広島大学附属図書館蔵 (島根県立図書館蔵マイクロフィルム)

* 明治期切図の字名と神納検地帳の字名が何カ所も一致



17

* 神納は東岩坂村内

* 具租、三田、ハツロの字名は、「意宇郡東岩坂村本郷御検地帳」(万治2年)に記載されている。

* 兵衛次名と保人名の位置？

↓

近世の村切の後に座が成立していたならば、これらの名は東本郷の座(東上座・東中座)に入っていたはずである。

☆星上山大餅行事の座と名の成立は近世の村切り以前

名とは、
 莊園や国衙領の年貢収納単位であり、領主側の年中行事や法会・神事の執行に不可欠な公事夫役の収納単位

18

* 文化4年(1807)の記述

西ノ鍛冶や名々

兵衛次名 忠蔵

兵衛次二田四ヶ所所有之、十一年目二相当り右四ヶ所へ順番ヲ以受取申議定、文化四卯年三十一年目二相談ヲ以忠蔵受取、後年之格合二ハ相成不申、以後議定之通四ヶ所順番四十一年目受取申事也

* 名の中はいくつかの田に分かれ、
 その中でトウニンの順番が決められていた。

19

* 文化12年(1815)の記載

上川原名 仁兵衛

此訳松江出作六助圖取候処、

同人ハ正米四斗観音へ差上、此外ハ一切何之受不申与申候節引受不申二付、年寄仁兵衛信心ヲ以当開き致シ、一年中清浄ハ庄屋助右衛門ニテ致し、十七日清浄渡方雑用茂助右衛門方いたし、是ハ誠ニ観音へ対し兩人方信心ヲ以隠ニ当開き仕候

文化12年、六助が籤でトウを給わったにもかかわらず、観音へ4斗米を奉納するだけで、この他は一切何も受けないと申すので、年寄仁兵衛が信心をもつて当開きをし、一年中の精進潔斎は庄屋助右衛門が勤め、17日のトウ渡しや雑用も助衛門が行った。

20

耕作者と所有者の様々な書き方		天保元年 天保元 天保元 天保元	
✽天保元年	平次郎名	支配定右衛門	運兵衛
✽天保6年	上川原名	支配仁左衛門	六助
具租名	支配孫十方二而當開	次左衛門	
✽安政6年	権神名	仁平支配	松江ノ春平
✽明治3年	上川原名	久藏請	岡崎運兵衛

21

別紙「トウを受ける名の所有村外者一覧」参照

1737年以降、東岩坂村以外の者が目立つ

➡ 村外地主が多くなった

当初は、日吉・山代・大庭など近くの者が多かったが、次第に松江の商人が目立つようになった。

22

天保7年 申年の飢饉 天候不順の上、夏には藩内大洪水 飢饉に陥る者が頗る多かった。 凶年なので解除米1斗2升を1斗切にしたが、これは慣例にしない。		天保七年申年 天保七年申年 天保七年申年 天保七年申年	
✽天保7年	平次郎名	支配定右衛門	運兵衛
✽天保6年	上川原名	支配仁左衛門	六助
具租名	支配孫十方二而當開	次左衛門	
✽安政6年	権神名	仁平支配	松江ノ春平
✽明治3年	上川原名	久藏請	岡崎運兵衛

23

別所 延宝2年(1674)御検地帳 広島大学附属図書館蔵

延宝二年(1674)御検地帳 延宝二年(1674)御検地帳 延宝二年(1674)御検地帳 延宝二年(1674)御検地帳		延宝二年(1674)御検地帳 延宝二年(1674)御検地帳 延宝二年(1674)御検地帳 延宝二年(1674)御検地帳	
✽延宝2年	平次郎名	支配定右衛門	運兵衛
✽延宝6年	上川原名	支配仁左衛門	六助
具租名	支配孫十方二而當開	次左衛門	
✽安政6年	権神名	仁平支配	松江ノ春平
✽明治3年	上川原名	久藏請	岡崎運兵衛

24

☆寺の変遷

- * 明治9年廃寺
大餅行事の祈禱は、別所の真言宗清徳寺住職が行う。
- * 明治26年(1893)村民が堂を修理
- * 明治43年(1910)群馬県の廃寺喜運寺の寺号を受け曹洞宗に改宗
- * 戦後、星上寺(曹洞宗)に
- * 1995年星上寺仁王門が松江市指定文化財に



29

☆トウニンの変遷(明治9年以降)

◆東本郷の5組(市東・市西・安田・川原・川向)

5組が籤を引いて、2組が東上座あるいは東中座の餅を供え、他の2組が降ろして、1組がタバコをする。
トウニンは組内の籤で決めた。
トウニンの家(トウヤ)の庭に観音の座を設置した。

◆別所の5組(西奥・藤原・別上・別中・別下)

5組のうち1組が東山分の餅を奉納、トウニンは組内の籤で。

1979～1996年にかけて、各組がトウヤ制廃止

→集会所を宿とし、代表者がトウニンに

30

☆大餅(御鏡・御餅)の変遷

近世には餅1枚5斗5升
7斗7升など



明治12年、餅1枚1斗2升



明治34年頃、1枚2升



戦後、1枚4升

* 明治12年

「塔田ノ徳米ヲ以、大餅壹枚
二付米壹斗貳升」

(組の共有田の小作米で作る)

* 明治34年

東岩坂本郷五組の者は、大餅が小さくなって残米が生じたので、組の老若男女が塔家に集まり、酒やら餅やら随分々しい。

* 戦後、農地解放により組の塔田を失う。

⇒各家が米を持ち寄る。

31

☆座と名の変遷

* 六塔が6枚の餅を奉納

* 昭和高度経済成長期、桑並が廃止、別所が西山分の餅も奉納する。

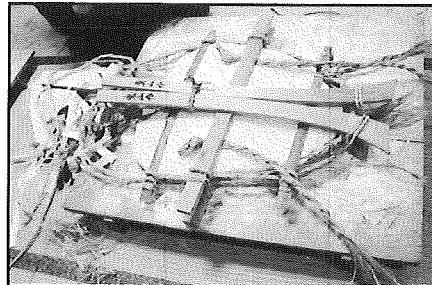
* 1986年、西本郷(西上座・西中座)が廃止 →餅4枚

* 2012年、別所は藤原廃止により、5組から4組になる。

* 2016年、別所は西山分の餅を廃止、東山分の餅のみ奉納 →餅3枚

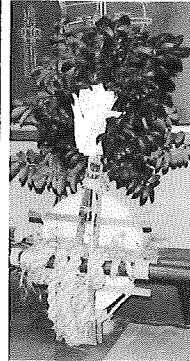
* 2017年、東本郷は東上座と中座を一本化 →餅2枚

32

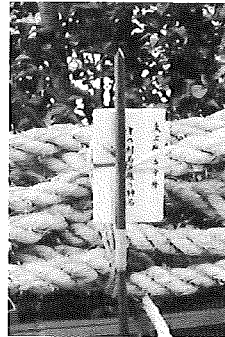


別所 餅粹木に東山分

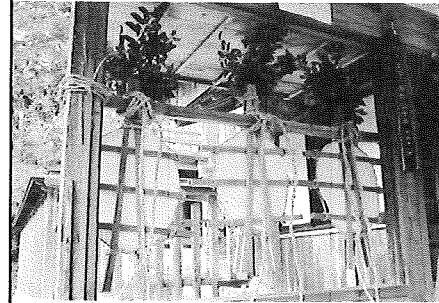
東本郷 餅粹木に「東上座」



東本郷の御札に
「東上座 中の村名」
「東中座 権の神名」



☆八雲町 西岩坂 秋吉
田村神社の七日塔



宮オコナイは神仏習合時代の
名残り

大餅を渡す側と受ける側が
引っ張り合う

男児が背負って去る

餅に雪玉を投げつける

